

Innovating Energy Technology

エネルギー技術を、究める。

電気、熱エネルギー技術の革新の追求により、
エネルギーを最も効率的に利用できる製品を創り出し、
安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。



貯水・材料・熱水利用技術
地熱発電プラント



デバイス技術
IGBT/パワー半導体



パワーエレクトロニクス技術
メガソーラー向けPCS
(パワーコンディショナ)



パワーエレクトロニクス技術
インバータ



パワーエレクトロニクス技術
UPS (無停電電源装置)



熱交換・冷媒制御技術
ハイブリッドヒートポンプ式
自動販売機



- 本社 〒141-0032
東京都品川区大崎1-11-2ゲートシティ大崎イーストタワー
☎ (03) 5435-7111 (代表)
- 創業 1923年8月 ■ 従業員数 27,416名 (連結)
- 売上高 9,149億円 (連結) ■ 資本金 476億円

富士電機ってどんな会社？

【富士電機のDNA】

富士電機は、1923年、古河電気工業(ふ)とドイツのシーメンス社(じ)が資本・業務提携を行い、富士電機製造株式会社を設立したことに始まります。創業以来育てつづけた、最小の資源で最高の効率を追求する「確かなモノづくり」で、その時代に必要とされている技術を提供してきました。

【富士電機の掲げる戦略・ビジョン】

約一世紀の歴史の中で育ててきた技術の遺伝子を受け継ぎ、社会を「支え」、社会を「創る」ために、たゆまぬ進化をし続けてきた富士電機。電気に関わるあらゆる分野で、幅広く環境課題の解決に取り組んできました。自然と調和した次世代の街づくりを総合的に提案していくべく、創業以来培ってきた、電気を自在に操る「パワーエレクトロニクス技術」を活用したパワー半導体、受配電・制御機器といったキーコンポーネントをコアとし、環境にやさしいエネルギーを創る「創エネルギー」、エネルギーの効率利用を図る「省エネルギー」、そして、創エネルギーと省エネルギーを「つなぐ」エネルギーマネジメントを活かし、事業を展開していきます。

【日本の富士電機から世界の富士電機になるために】

グローバル企業——その言葉は、もはや陳腐化していると言っても過言ではありません。グローバル企業に入社しても、実際にグローバルな仕事に携われるとは限らないのが現状。富士電機ももちろんグローバル企業の一つですが、これから更に世界でのプレゼンスを高めようと動き出しています。その中であって、グローバルな視野を持つ人材確保は急務になっているのです。今、世界を舞台に、仕事へと立ち向かう富士電機社員がたくさんいます。